



行ってきました! 大阪・関西万博!

5月28日(水)に小学部4・5・6年生、と中学部2・3年生が和歌山県の招待事業を活用し、校外学習で大阪・関西万博に行ってきました。

天気は快晴。早朝 7 時の出発でしたが、みんな元気いっぱい! 盲学校では観光バスでの外出がほとんどないので、観光バスに乗ることもワクワク! している人もいましたね。会場では、事前学習で目の数を調べたミyakミyakのオブジェ前で写真を撮った後、大屋根リングに上りました。心配されたユスリカはおらず、風を感じながらゆっくりと散策できました。予約していた国連パビリオンの他にも、ポルトガル・コロンビア・スイス(小学部)・オーストリア(中学部)・ブラジル・中国のパビリオンとたくさんの体験することができました。触れられる展示は少なかったですが、音楽や映像・光を感じたり、各国の方々と交流したり、児童生徒それぞれの楽しみ方を見つけていました。

朝7時に学校へ集合、お弁当や補食のご準備など、保護者の皆様にはご協力いただきありがとうございました。



これは国連ガチャです!



大屋根リングへ上がる長いエスカレーター



大屋根リングをみんなで探索中



オーストリア館では4000万円のピアノの音色に癒やされました

6年生作:
ミyakミyakくん

近畿盲学校フロアバレーボール大会に向けて

視覚障害者スポーツの1つ「フロアバレーボール」の近畿盲学校の大会が6月に兵庫県で開催されます。大会に向けて、本校でも放課後の時間、高等部の生徒が練習に励んでいます。激しく迫力あるプレーや後衛からの指示の大きな声に圧倒されます。大会でも練習の成果を発揮してください!



↑前衛は前からのボールをブロックしたり、後衛のボールの通り道を作ったりとにかく激しく動きます



←後衛のアタック

フロアバレーボールってどんな競技?

フロアバレーボールは視覚障害者と健常者が一緒にプレーできる球技です。コートは6人制バレーボールコートと同じで、床上30cmの高さに張られたネットを挟んで床の上を滑るように転がってくるボールを3打までのプレーで打ち合います。チームは前衛3人、後衛3人の計6人で構成されます。前衛の3人はアイマスク等によって何も見えない状態で、ボールの転がる音や後衛からの指示を聞きながらプレーします。後衛の3人は、見える状態で前衛の選手にボールの位置やブロックの位置などの指示を出しながらプレーします。音や声を頼りにプレーする前衛選手と指示を出しながらプレーする後衛選手とのチームワークがカギです。大きく振り上げた握りこぶしでアタックしたボールは、大迫力のスピードで地面を駆け抜けていきます。

(参考: 公益社団法人東京都障害者スポーツ協会 HP)